

令和8年度 茨田北中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

Ⅰ 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

Ⅰ 全国学力・学習状況調査

※英語はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（CBT=Computer Based Testing）で実施。

学年		生徒数 (人)	平均正答率 (%)		平均無解答率 (%)		平均IRTスコア
実施月日			国語	数学	国語	数学	(参考)英語3技能
3 年	学校	178	61	53	4.7	8.0	495
	大阪市	-	60	55	5.4	11.4	499
4月23日	全国	-	63.9	57.0	4.9	10.4	499

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

調査結果とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について

成果と課題

○全国学力・学習状況調査

<国語>

平均正答率は大阪市より1ポイント上回り61%で大阪府と同率であったが対全国平均では2.9ポイント下回った。

学習指導要領の内容の「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」、評価の観点での「思考・判断・表現」の項目については大阪市の平均を上回った。特に「話すこと・聞くこと」については大阪市の平均を7.5ポイント、全国の平均を3.5ポイント上回った。しかし学習指導要領の内容の「言葉の特徴や使い方に関する事項」、評価の観点での「読むこと」の項目については大阪市の平均を下回った。全体の無回答率は大阪市平均より0.7ポイント低い4.7%だった。

<数学>

平均正答率は大阪市より2ポイント下回り53%で、対全国平均では4ポイント下回った。

学習指導要領の内容の「図形」、評価の観点での「思考・判断・表現」の項目については大阪市の平均を上回った。特に「図形」については全国の平均をも上回った。しかし、学習指導要領の内容の「数と式」「関数」「データの活用」、評価の観点での「知識・技能」の項目については大阪市の平均を下回った。全体の無回答率は大阪市平均より3.4ポイント低い8.0%だった。

<英語>

IRTスコアは大阪市より4ポイント低い499であった。しかし、標準偏差は小さいので、平均値に近い生徒が多い結果であった。技能別正答数で見ると「聞くこと」は大阪市より低かったが全国の数値と同じであった。「読むこと・書くこと」では大阪市、全国ともに比べて低かった。

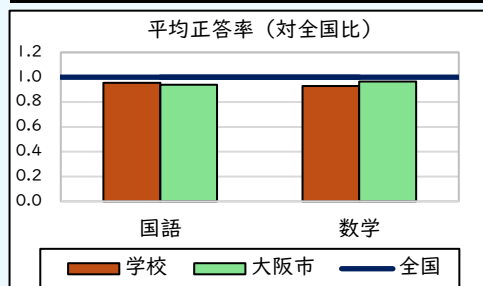
今後に向けて

校内秩序を正しく維持できしており、ほとんどの生徒がまじめに学校生活を送っている。今後も授業規律を維持しつつ主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む。基礎学力の定着を図り、発展的な思考力の向上につなげていく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要（国語・数学）

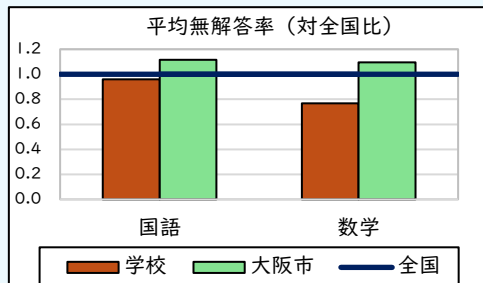
平均正答率（％）

	国語	数学
学校	61	53
大阪市	60	55
全国	63.9	57.0



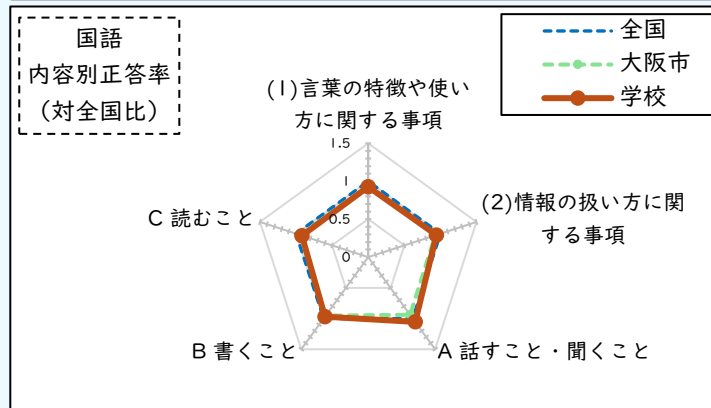
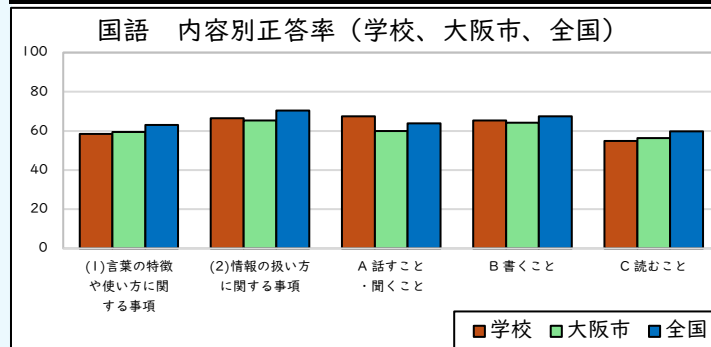
平均無解答率（％）

	国語	数学
学校	4.7	8.0
大阪市	5.4	11.4
全国	4.9	10.4



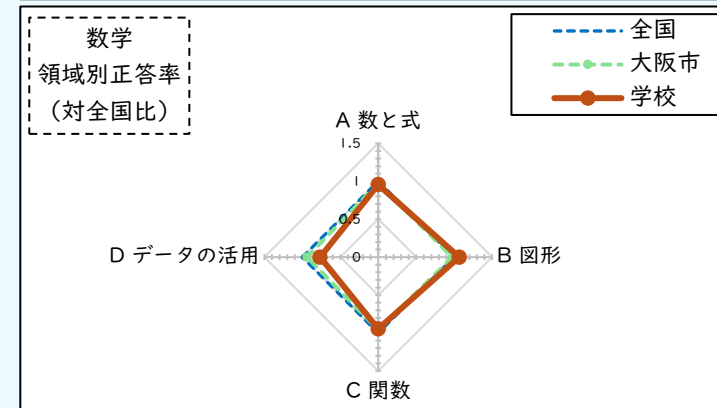
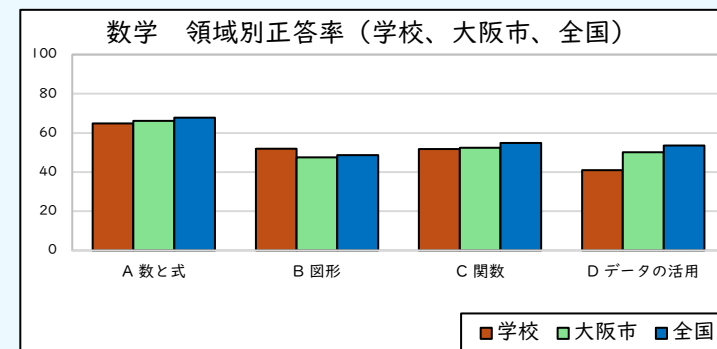
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	5	58.4	59.5	63.0
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	66.5	65.3	70.4
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	67.4	59.9	63.9
B 書くこと	3	65.3	64.2	67.4
C 読むこと	3	54.9	56.3	59.7



【数学】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	64.8	66.1	67.8
B 図形	4	51.9	47.6	48.7
C 関数	3	51.8	52.5	54.8
D データの活用	4	41.0	50.2	53.5



令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要（英語）

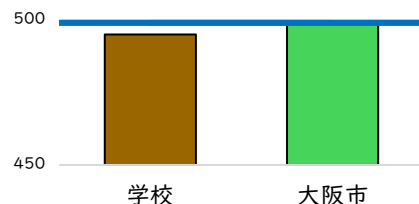
英語 平均IRTスコア

学校	495 (495)
大阪市	499 (499)
全国	499 (499)

※ 4技能の平均IRTスコアです

※ () 内は3技能の平均IRTスコアです

平均IRTスコア 英語 4技能



【IRT(Item Response Theory：項目反応理論）とは】

児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

【IRTスコアとは】

IRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

導入する年（中学校英語は令和8年度）の全国平均を基準値とし、経年比較が可能な形で算出します。

【IRTバンドとは】

IRTスコアを1～5の5段階に区切ったものです。3を基準のバンドとし、5が最も高いバンドとなります。

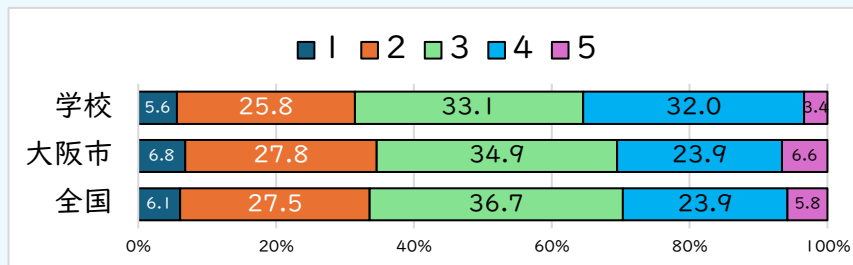
※IRTスコア・IRTバンドは、難易度の高い問題にしていると高めに、難易度の低い問題に誤答していると低めに算出されます。

IRTバンド分布比較（4技能）

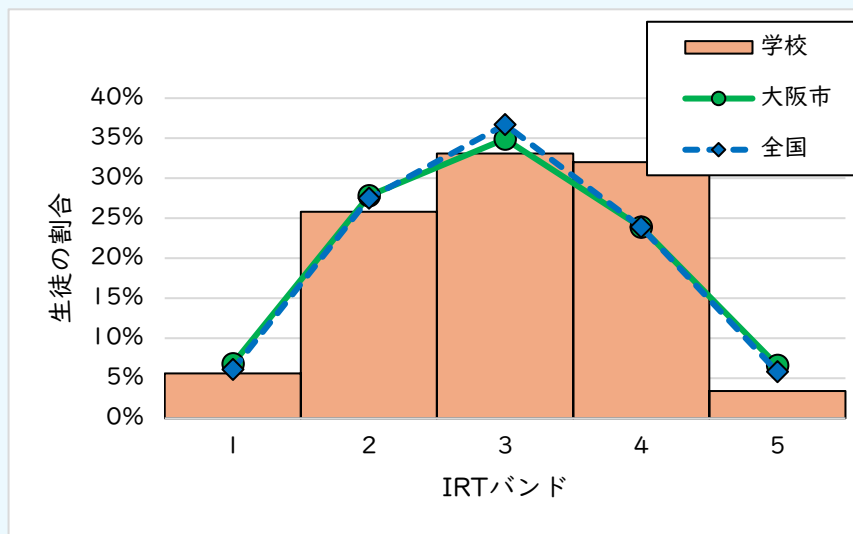
	1	2	3	4	5
学校	5.6	25.8	33.1	32.0	3.4
大阪市	6.8	27.8	34.9	23.9	6.6
全国	6.1	27.5	36.7	23.9	5.8

※ 4技能のIRTバンド分布です

IRTバンド分布比較（4技能）



IRTバンド分布グラフ（4技能）



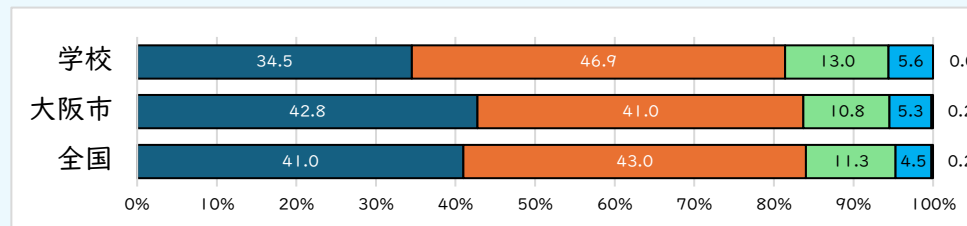
生徒質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

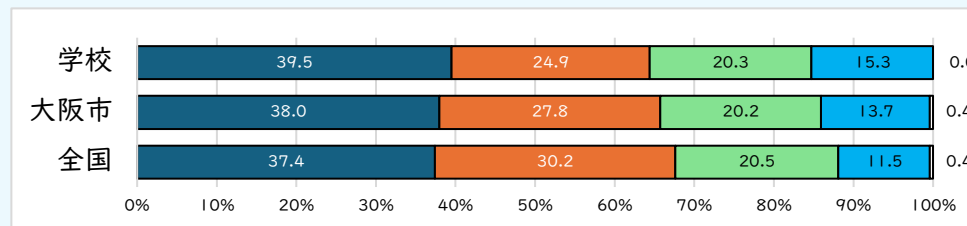
質問番号 質問事項

(8)	自分には、よいところがあると思いますか
-----	---------------------



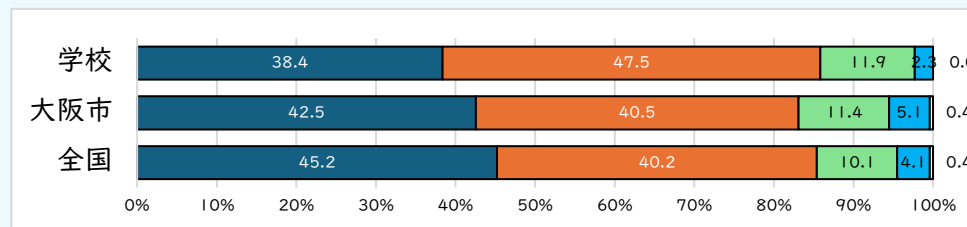
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(10)	将来の夢や目標を持っていますか
------	-----------------



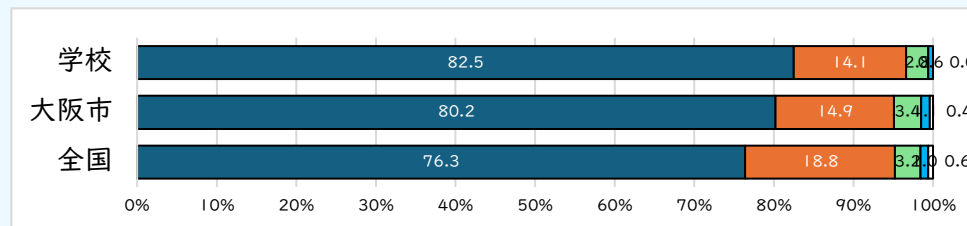
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(15)	学校に行くのは楽しいと思いますか
------	------------------



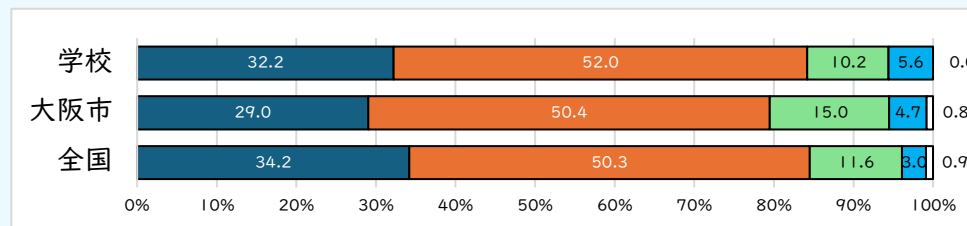
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(12)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
------	------------------------------



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(49)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
------	--



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

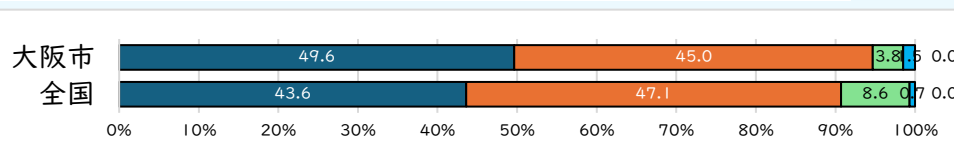
学校質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

質問番号 質問事項

(8)	調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか
-----	-------------------------------------

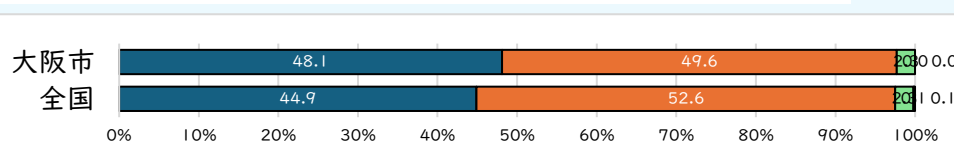
【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う



- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(10)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行いましたか
------	---

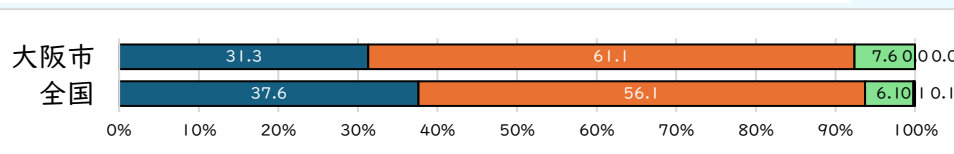
【学校の回答】 2 どちらかといえば、行った



- 1 よく行った
- 2 どちらかといえば、行った
- 3 あまり行わなかった
- 4 全く行わなかった

(18)	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか
------	---

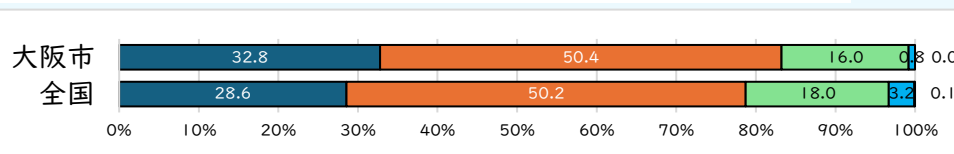
【学校の回答】 2 どちらかといえば、している



- 1 よくしている
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない

(25)	教職員にとって、学校施設全体として、教職員が働きやすく、居心地のよい建物だと思いますか
------	---

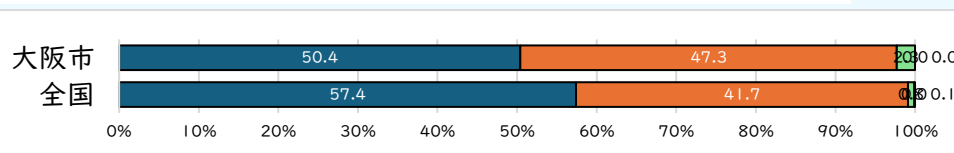
【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う



- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(19)	学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員（支援スタッフを含む）の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしていますか
------	--

【学校の回答】 1 そう思う



- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない